

市民フロンティア



URL <http://www.cskobe.com/>

E-MAIL info@cskobe.com

発行人：中村順子 編集人：岡本雅士

東北被災地で進む 「地域包括ケア」のまちづくり

「地域包括ケア」って何？



「まちづくり会議」の様子

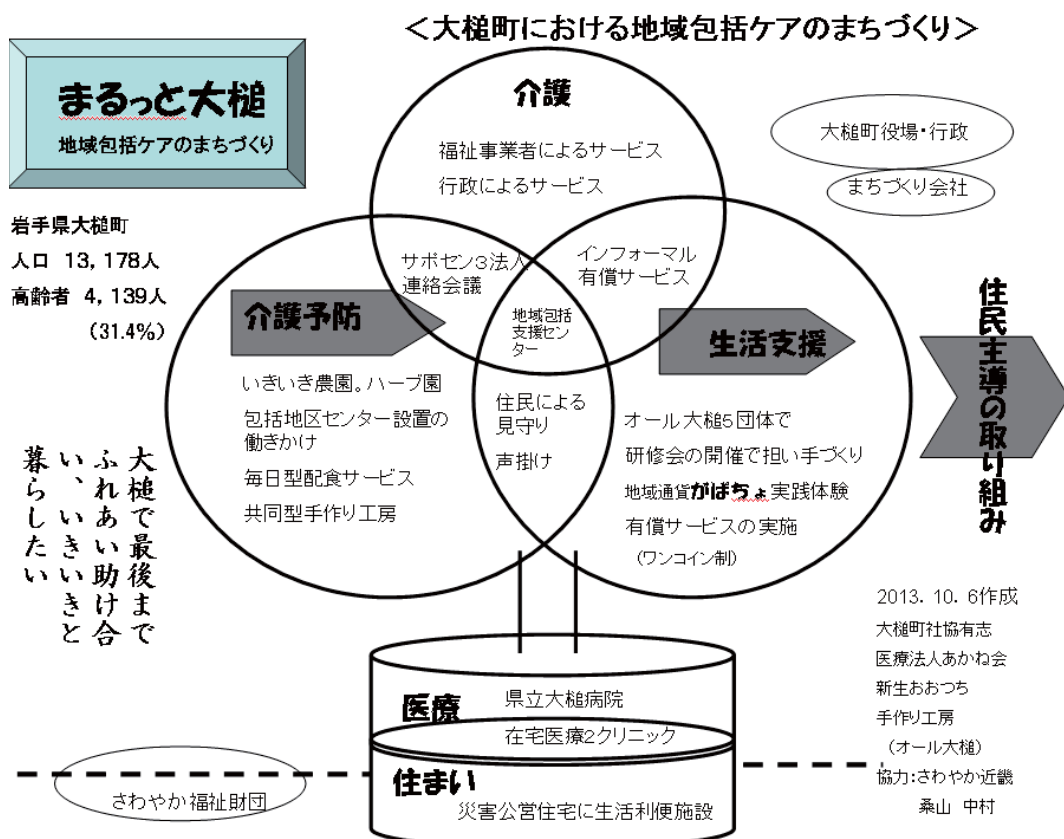
地域包括ケアとは、おおむね30分以内に駆けつけられる日常生活の場で、ニーズに応じた住宅が供給され、医療や介護そして介護予防・生活支援が適切に提供される地域像のことです。つまり、どのような状態になっても自宅で安心して暮らせるまちです。2015年度から介護保険要支援1・2を市町村事業に移行する厚生労働省の発表を受け、「地域包括ケア」のまちづくりが現実味を帯びてきました。このようなまちこそ、まずは被災地で実現してほしい！と願います。

被災地は、復興2年半の道のりを歩んできました。やっと災害復興住宅の建設がすみ、一部では入居が始まりましたが、全体の1割程度です。そのスピードは阪神大震災時のそれに比べて3割程度、多くは2014・15年度の着工予定で、暮らしの基本である住宅再建が遅れています。

一方、ソフト面の復興活動は、住民主体で熱心に取り組まれています。活動が一部であったり、行政との連携がうまく進まなかったり、こちらも課題が山積しています。

時を得て「地域包括ケアのあるまちづくり会議」として、10月5、6日に松島で、さわか福社財団が応援する大槌町・釜石市・大船渡市・山元町・塩竈市・石巻市の6地点の関係者が集まり、「地域包括ケア」の実現に向けた話し合いをしました。会議には、中村が大槌担当リーダーとして参加しました。会議では、市や町のトップに提言しても組織に浸透しない、それは常に担当職員にも情報提供しておくとう理解や取り組みが早い、また議会議員さんにはしっかり勉強し適切な質問をしてほしい、等の意見が出ました。住民サイドも、地域包括ケアに関する全国の先進事例を勉強し、自分たちのまち流にアレンジし、粘り強く取り組み提言を重ねる重要性を確認しました。

右の図は、大槌町の参加者と作り上げた地域包括ケアのまち「まるっと大槌」です。住宅・医療・介護・介護予防・生活支援の領域を関係づけ、取り組める活動を記載しています。特に介護予防では、「引きこもりがちな男性を農作業に誘い出す」、「地域包括ケアを推進するセンターの設置を働きかける」等、また生活支援での初の取り組みとなる有償サービスの導入を考えています。さらに地域通貨「がばちょ」を使った助け合い活動の推進と復興商店の応援策等、具体的な行動を決定し、早速取り掛かる準備に入りました。これまでと同様、側面支援に励み、「地域包括ケア」のモデルとなる町になってほしいものです。（中村理事長）



2013 年度の新規事業



まちづくりスポット運営事業

第1回「まちそだて講座」が始まりました！



講座の様子

12月に、神戸市西区の学園都市エリア（小東山）にオープンするショッピングモール「Branch 神戸学園都市」。その中に誕生するコミュニティスペース「まちづくりスポット神戸（通称：まちスポ神戸）」の運営をCS神戸が担当することになりました。モールを運営する大和リース株式会社とCS神戸との協働事業になります。

オープン前ではありますが、第1弾の取り組みとして、9月末から12月にかけて「まちそだて講座」を開講しています。4万枚の新聞折り込みを入れたところ、定員を超える36名からのお申し込みがあり、期待の高さがうかがえました。

初日の講師は、垂水区まちづくり課の高田課長。「このまちってどんなまち？」というテーマで、垂水区の現状や課題についてお話しいただきました。2日目は兵庫県立

大学の野津教授にご登壇いただき、大学連携の可能性について学び、交流を深めました。これから講座の後半に入りますが、参加型のワークショップ形式で行い、実際にまちスポを拠点に活動するグループが生まれるよう進めていく予定です。

CS神戸として、これまでも様々な「まちづくり」の現場に携わってきましたが、ショッピングモール内での活動は初の試みとなります。40㎡程度のスペースを拠点に、①交流スペースの運営、②講座の実施、③大学・テナント会との連携など、人と人、人と情報が出会い、様々な活動が生まれる場として展開できればと思っています。先行的にスタートした「まちそだて講座」のほか、「親子ひろば」、「まちそだてサロン」、「まちそだて相談・子育て相談」など、様々なプログラムも計画中です。受講生の皆さんや地域の皆さんにもご協力いただき、一緒に「まちスポ神戸」を創っていきたいと考えていますので、よろしくお願いします。詳細は次号でお知らせする予定です。楽しみに！（飛田）



受講生、全員集合！

生きがいごとサポートセンター全県展開事業

CB起業フォーラム・CB実践講座を開催！



フォーラムの様子

兵庫県の「生きがいごとサポートセンター全県展開事業」は、丹波地域において具体的な活動が始まっています。

「地域の課題をビジネスの手法で解決」をキャッチフレーズに、日常の助け合いからコミュニティビジネス（CB）起業の芽を育てるフォーラムが、7月27日（土）「丹波のハートフルかすが」で開催されました。CS神戸（生きがいごとサポートセンター神戸東）とシンフォニー（同、阪神南）が共催、丹波市と篠山市の後援です。開催にあたり来賓に丹波市長代理として鬼頭副市長が出席され、挨拶をいただきました。

第一部は、パネルディスカッションで、パネリストは地元で「TANBA HAPPINESS MARKET」を始めた葉山生子さん、「いぬい福祉村」の理事の中川順子さんと、地元コーディネーターの「情報社会生活研究所」の小橋昭彦さん、立命館大学教授・高嶋正晴さんで実施。第二部は、参加者みなさんでお互いの起業の夢を語り合うワークショップを行いました。地元で「アイ・ターンのシェアハウスで起業を目指す『みんなの家』」や、「丹波で持続可能な未来モデルタウンづくりを目指す『大路未来会議』」の若手メンバー10名も参加し、総勢60名で、将来のビジョンを話し合いました。「起業の手助けをするプラットフォームを考えている」「主婦としてビジネスの壁があったが、やれそうだ」など、アンケートでは、時期も決めた起業が5件、起業予定が6件など、前向きな回答が多くありました。

8月27日からは毎月1回で全4回シリーズのCB実践講座を、柏原住民センターで開講しています。CS神戸と丹波市の共催です。参加応募枠20名はほぼ満員、すでに第一回「起業の夢を形に」、第二回「地域課題をビジネスに」というテーマで講義とワークショップが実施され、第三回「公共団体との協働と資金計画」、最終回「CB起業ビジネス計画づくり」が予定されています。フォーラムや講座の参加者を中心に講座開始前の時間などを使い、起業個別相談も10件以上実施しています。篠山市でもシンフォニーと篠山市民プラザが協力し同じように講座を開催しています。来年2月には、丹波・篠山市合同で「CB起業の事業プランを発表する合同フォーラム」が予定されています。丹波地域をはじめ各地にCB起業家やCB支援ができる人材を育て、それらをつなぐことで、中間支援機能の拡充を目指す活動が徐々に実を結び始めています。（柳井）

CB実践講座。夢に取り組む参加者



市民活動推進事業



生きがいごととサポートセンター事業

「ひょうごコミュニティビジネスフォーラム」開催

10月12日（土）、生きがいごととサポートセンター6団体と日本政策金融公庫の共催による「ひょうごコミュニティビジネスフォーラム ～目指そう起業家 先例に学ぶ！～」を、神戸国際会館（中央区）で開催しました。参加者は180名を超え、定員を上回る盛況ぶりでした。以下、基調講演（㈱伊賀の里モクモク手づくりファーム・吉田修氏）の概要をご報告します。

コミュニティビジネスで地域を変える、社会を変える（要点）



吉田氏の基調講演に聞き入る参加者たち

事業の要諦は使命感・覚悟です。現在売上52億、従業員800名、これまでの借入金総額約60億。覚悟がないと出来ません。営利だけにならないよう、「事業」と「運動」の両立も大事です。話題・システム作りを力を入れてきました。牛を飼うのは僕の夢でした。日本では200～300頭飼わないと飯を食べられない。アルプスの少女ハイジでは40頭で大丈夫。これを実験したかったのです。結果、7名が飯を食べました。加工品を売ったからです。日本はメーカーが儲け、農家が駄目と分かった。六次産業が大切なのです。今、農作物を作り、加工・販売しています。卸をせず会

員組織を作りました。通販で直接売るとクレームも直接来る。それが大事です。全国会員4万5千のファンクラブです。

レストランを本部から1時間半圏内で始めました。いつでも生産現場が見られる距離です。農業公園に来て現場を見てもらい、レストランで食事をする。レストランで食べたものは通販で買えるという商売です。今は、レストラン、通販、農業公園の売上が3分の1ずつで、安定しています。事業に3本の柱がある、というのも重要です。

飛び付きは女性、継続は子どもがポイントです。消費者の心を読む力も必要です。しかし、教科書は読めても人の心は読めない人が多い。だから学生時代の恋愛数が多い順に採用したこともあります。役員も4年に1度総選挙します。役員をみんなを選び、6割以上の賛同がなければヒラ社員になる。僕は職員を評価するが、その逆も良いと思います。

現代は自分達の思いを伝える力が大切です。考え方を伝え、共感者を募る。それがないとNPOもダメです。これが「運動」だからです。（狩野）

ハンズオン・インターンシップ研修事業

卒業生に、研修を手伝っていただきました



CS神戸では、三菱重工株式会社神戸造船所のご支援をいただき、2012年度より「働きたいけど自信がない、就職への一歩が踏み出せない」といった悩みをかかえる人達を対象に、「ハンズオン・インターンシップ」研修事業を立ち上げました。東灘区の障がい者施設の商品を仕入れて販売するという就労体験実習を通して、コミュニケーションや問題解決の方法を学び、それぞれの進路決定を支援しています。

2013年度の上半期では、研修生に関しては、5月末に1名の就労が決まり、現在5名が在籍しています（前年度からの継続者2名、今年度に体験希望のあった5名のうちの3名）。活動においては、研修生に寄り添い、潜在力を引き出すようにサポートする「メンター」（人生の先輩・伴走者）が2名、彼らの支援を行います。昨年より協力していただいていた女性のメンターが、この経験を活かし就職が決まったため、後任を探していましたが、8月にやっと適任の方を見つけることができました。研修開始当初から協力していただいている男性メンターと2名で、精神的な側面とビジネス的な側面、両方から研修生を支える体制が整いました。

9月に、ハンズオンを卒業し就職しているOBの2名が研修に参加して販売実習を手伝うという、嬉しい出来事もありました。確実に成長している彼らの姿は、少しまぶしく見えました。仕事を見つけたら、次は働き続けることが目的となります。短期就労を繰り返してしまう可能性のある彼らには、辞めてしまう前に支えることもハンズオンの支援の一つであり、就職後も職場での悩みや相談に乗っています。研修生たちは、この研修の意味や働き続けることの厳しさを語るOBの話に熱心に耳を傾けていました。このような交流の時間も大切にしていきたいと思っています。

この秋、前年度から参加している研修生1名の進路が決まりかけています。初めはがちがちに緊張し、不安感いっぱいでしたが、周りの支援を受けながら一生懸命自分の課題に取り組み、自身を客観的に理解できるようになったことで進む道が見えてきました。これからも、研修生と共に悩み、支えていけるハンズオンでありたいと思います。（瀬光）



販売実習中の研修生とメンター

ひょうごボランティアプラザ（兵庫県社会福祉協議会）助成事業



1. NPOマネジメントスクール事業

今年度の募集が始まりました！

NPO マネジメントスクールは 1997 年に神戸で産声を上げ、今年度で 17 年目の実施となります。運営主体や名称が少し変更になった時期もありましたが、これまでに兵庫県内の NPO 団体の役員・職員を中心に延べ 1000 人以上の方が受講されました。企業で用いられる経営分析ツール（SWOT 分析、バランススコアカード等）を NPO 版にアレンジし、「NPO のマネジメントってどうやったらいいの？」という疑問にお答えできるようなカリキュラムを目指しています。

2013 年度は、中間支援をしている NPO 等で相談業務や組織運営支援に携わるスタッフを主な対象とし、「NPO へのマネジメント支援の手法」を学ぶ 1 日完結型形式で、神戸・阪神・姫路の 3ヶ所で実施します。今年のウリは、昨年度に作成した「オリジナル支援ツール」。この支援ツールは、①講義 DVD、②講義 DVD テキスト、③ケーススタディ本文、④ケーススタディ・サポートガイド、の 4 種類で構成されており、復習用としてだけでなく、組織運営支援の現場ですぐに役立てることができます。この 16 年間のノウハウが詰まったオリジナル支援ツールを基に、講座を展開する予定です。ぜひご参加・ご紹介ください。（飛田）

日時・会場

- ＜阪神校＞ 2013 年 12 月 11 日（水）9：30～17：00 会場：いたみホール
- ＜播磨校＞ 2013 年 12 月 12 日（木）9：30～17：00 会場：イーグレひめじ
- ＜神戸校＞ 2013 年 12 月 17 日（火）9：30～17：00 会場：神戸国際会館

※いずれの会場も同内容、ご都合のいい会場をお選びいただけます。

カリキュラム

講座（SWOT 分析と BSC で学ぶ NPO マネジメント）、ケーススタディ、グループディスカッション、モデル団体の SWOT 分析と BSC の作成等

受講料

3000 円（同一団体の 2 人目からは 1 人 2000 円）オリジナル支援ツール付！

オリジナル支援ツール



2. CSR&プロボノ事業

協働事業への取り組みと「実践的 NPO 監事プロボノ養成講座」



本事業は、企業や企業人と NPO をつなぐ活動です。

先ず CSR（企業の社会的責任）活動については、昨年度実施した 20 社の社会貢献担当者へのヒヤリング調査を一步前進させ、ご協力いただいた企業の中の何社かと一緒に協働事業案づくりに取り組んでいます。会社の置かれている環境や課題、考え方などをお聞きしながら、昨年整理した「企業の社会貢献活動メニュー」を参照しつつ、各社ごとにテーマを設定し、現時点では「本業の製品を使って、子供や障がい児（者）の健全育成に寄与するものを作り、関係者・団体に寄贈を行う」、「60 代向け製品・サービスの情報を受発信するために、シニアのコミュニティを作る」、「社員のボランティア意識を向上させるために、NPO との交流会を開催する」などを検討しています。

次にプロボノ（仕事で培われたスキルを活かした社会貢献ボランティア）ですが、CS 神戸では仕事でのマネジメントの経験を活かして地域の活動に参加をするため、NPO 法人の監事を養成する講座を開催します。監事とは理事の職務遂行や法人の財産を監査をする役員で、外部に対して NPO の信頼性を証明する役割を担います。定年を目前に控えた方や定年を既に迎えられた方、また監査業務に関心のある専門職の方を対象に、監事という業務を通して NPO との橋渡しを行うことを目的にしています。講座は基礎コースと体験コースに分かれており、基礎コースでは NPO 全般の説明や先輩監事のお話を聞いた後、昨年度作成した「監査業務のためのチェックリスト」の内容を学びます。そして体験コースでは、実際の NPO 法人に対して模擬監査をしていただき、監査報告書を作成してもらうことにしています。（岡本） ★講座の詳細は 8 ページもご参照下さい。

●「企業の社会貢献活動メニュー」の要旨

一般分野	資金	助成基金、特定活動の実施・協賛・寄付、関連施設・団体による活動
	人材	従業員のボランティア・イベント参加、会社による従業員のボランティア支援
	製品・施設	製品や情報提供、自社製品以外の製品提供、研修生受入、事務用品提供、活動場所提供、共同開発
福祉分野		障がい者施設への生産委託、障がい者施設の製品販売、障がい者の職場体験、専用製品の開発

●「監査業務のためのチェックリスト」の要旨

業務監査	社員総会、理事会、その他会議体、業務内容とプロセス、法令順守、情報開示、会員管理、役所への届出等
会計監査	活動・収支計算書、貸借対照表、注記、財産目録、規程等

ネットワーク事業



つながう神戸事業

インターネットではなく、人と人が出会うイベントを開催

つながう神戸は、2011年度兵庫県地域づくり活動支援事業としてスタートしました。インターネットを通じた、地域活動団体の総合的な広報サイトです。登録している団体と、それらに参加・協力・利用したい市民や企業、団体との橋渡しをしています。サイトには団体の基本情報の他、ボランティア募集、イベント・講座・提供サービスの告知、派遣できる講師紹介、寄付支援募集などの情報とともに、個人については、ボランティアへの参加や寄付の希望などの情報も掲載されています。また事務局からは、団体向けに助成金や行政の支援情報も提供しています。運営はCS神戸が事務局となり、神戸市、NPO、社会福祉協議会、企業、大学で協議会を組織して行っています。2012年3月1日にサイトがオープンし、現在、登録団体は約370団体で、5つの企業・団体の協賛も決定し、お陰様でサイトへの訪問回数も右肩上がりの状況が続いています。



情報交流の様子。うまく、つながったかな。

しかし残念ながら、インターネットの世界はどうしてもお互いの顔が見えません。相手の息づきやまなざし、ぬくもりが伝わってきません。そこで7月6日（土）に、リアルな現実の場でお互いが出会って情報交換をするため、「つながう神戸ジャンクション オフラインミーティング」と題したイベントを実施しました。会場は、地下鉄学園都市駅ビルUNIT Yセミナー室で、神戸県立大学のボランティアサークル「Bridge」の協力を得て、107名、34の団体の方にご参加いただきました。スタッフの事前予想を上回る（？）盛況な催しとなりました。サイトの活用の仕方、活用事例などをご紹介した後、1団体3分で自らの活動について説明する「ひと言アピール」をお願いし、その後はいくつかのグループに分かれて交流を行いました。限られた時間でしたが、笑いの中にリズムよく進み、いろいろな方とつながっていただけたのでは、と思っています。

今後も、サイトの掲載情報の充実とともに、人と人が直接に出会える機会を提供し、神戸の市民活動を応援していきたいと思います。お時間があれば一度ホームページ（www.tgkobe.org）を覗いてみてください。facebook や twitter もありますので、つぶやきも大歓迎です。（岡本）

研修・視察事業

多くの方が、研修やインターンに来られました



高陽市（韓国）からの訪問団の皆さんと

CS神戸では年間80名ほどの視察やインターンを受け入れています。行政・企業・NPO 関係者や学生さんなど、セクターや地域を問わず、様々な方の来訪があります。特にここ2～3年で増えているのが韓国からの視察。韓国では2007年7月に社会サービスの拡充や雇用の創出を目的とした「社会的企業育成法」が施行され、社会保険料（企業負担分）の減免措置がとられるなど、活動基盤の整備が進んでいます。老人長期療養保険制度（日本でいう介護保険制度）も導入されていますが、日本のNPOと同様に制度ではカバーしきれない領域を社会的企業が対応しています。今年度はすでに4月と8月にそれぞれ30名規模の視察があり、高齢者の就労支援や生きがい創造、足りない社会サービスをどのようにつくりあげていくのか等の意見交換をしました。年を追うごとに問い合わせも増えており、そろそろ韓国語版の紹介資料でも作成しようかな、と考えているところです。

また、NPO 活動に参加する人の裾野を広げたい、という思いで学生インターンも積極的に受け入れています。この夏は、県内9つのNPOと合同で、実習研修と振り返り研修をセットにした「夏休み特別企画 NPO等インターンプログラム」を実施しました。参加者は甲南大学、神戸学院大学等から計18名、CS神戸は4名の学生を受け入れました。子ども、障がい者、高齢者、外国人、中間支援など、希望する分野を選べるプログラムになっており、各現場での3日間程度の実習の後、参加者全員が集合して体験共有を行いました。学生さんからは「世界が広がった」、「社会に必要な仕事とは、こういうことかと思った」、「企業でのインターンと違って、いろんな人と出会えた」などの感想が寄せられ、好評を得ることができました。

今回は、韓国からの視察と学生インターンの2事例をご紹介しましたが、個人・団体、短期・長期など、テーマやご要望に合わせてプログラムを組むことが可能です。CS神戸の活動にご興味がある方、NPOでの仕事を体験してみたい方、ぜひお気軽にお問い合わせください。（飛田）



学生インターン 振り返り研修の様子

まちづくり推進事業



J R住吉駅前自転車駐車場（神戸市指定管理事業）

日々、地道な新しい取り組みにチャレンジ！

今回は、現場スタッフの方々と相談しながら取り組んだ、いくつかの新たな活動や試みをご紹介します。

1. 迷惑駐輪の啓発のため、駐輪禁止看板を設置

場外の一般道路に放置されている迷惑駐輪の指導業務を受託していますが、神戸市東部建設事務所、国土交通省兵庫国道事務所、東灘警察署と協議し、J R住吉駅南口の一帯に駐輪禁止の看板を設置しました。この場所は迷惑駐輪をする車両が密集しているところですが、それ以降は前年比4割程度にまで大きく放置車両が減少しました。11月にはさらなる低減を進めるため、行政や警察と連携しこの地点に的を絞った啓発イベントを予定しています。



国道2号線沿いに設置した駐輪禁止看板

2. 場内での接触事故を防ぐため、スタッフが声かけ



通行者に声かけをするスタッフ

朝の時間帯は、J R住吉駅から東灘区役所につながる南駐輪場の通路が、通勤・通学のために大変に混み合います。自転車と歩行者の接触事故を防ぐため、以前からこの場所では立て看板で車両から降りていただくようお願いをしていました。そのことをより徹底するため、9月からはスタッフがブラカードを持ち、直接市民の方々に呼びかけを始めました。

3. 利便性と安全性を考え、北駐輪場の上段ラックを撤去

北駐輪場は地下にあり、上下2段のラックに自転車を止めるようになっています。しかし上段は殆ど使われていないにもかかわらず、下段に車両を出し入れする際、上段ラックが邪魔になり不便で、また危険とのご意見がご利用者の皆さまから寄せられていました。そこで神戸市と話し合い、9月29日に一部を残して上段ラックの撤去を行いました。

これらは小さく地味な活動ですが、安全で快適な駐輪場やまちづくりのため、できることからコツコツと取り組んでいきたいと思っています。（岡本）

不便で危険との声のあった、上段ラック



東灘区区民センター小ホール（神戸市指定管理事業）

「魚崎親子防災教室」＆「区民カレッジ」

「魚崎親子防災教室」は、11月9日（土）10時より、東灘区民センター小ホールにおいて開催されます。地震と津波から命を守るため、親子の間で「防災」について考えてもらうためのきっかけになるのでは、と思い企画をしました。魚崎児童館と魚崎町防災コミュニティの協力を得て、一人一人が「自分の命は自分で守る」という意識を持つことをテーマにしています。日頃から地震や津波について家族で話し合っ頂き、お互いの行動を前もって決めておくことで、離れ離れになった家族の安否確認を迅速に行ったり、とっさの判断に迷って逃げ遅れるのを防ぐことが目的です。当日は、東日本大震災から学んだことの話し合い、津波DVDの視聴、非常持ち出し品のサンプルの勉強、それらの入ったリュックの重さ体験、また非常食であるアルファ米の試食等を行います。家庭で必要な備蓄品の種類や量について参考にして頂ければ、と思っています。

「ひがしなだ区民カレッジ」は教える人、教わる人の区別なく、お互いが行き来できる「場」として、2011年から継続して実施しています。11月、12月は以下の講座を予定していますので、皆さまのご参加をお待ちしています。（兵頭）

「ひがしなだ区民カレッジ」2013年度11・12月講座予定

No.	日 程	講 師	内 容
1	11/8・22（金）	犬飼建治	英語で読む シャーロック・ホームズ
2	11/10・24（日）	茂木寿枝	遺箱ワークショップ 終活について考えましょう！（2回講
3	11/12・26（火）	江原千恵	親子で遊ぼう！！ 子育てふれあいリトミック ～かしこい“こころ・からだ” 育て～
4	11/19・12/3（火）	遠藤景子	親子で！！ 子育てふれあいリトミック ～ジャズと即興演奏 de リトミック～
5	12/14（土）	中野恭子	トールペイント「マーガレットの小物入れ」
6	12/16（月）	佐藤晴奈	脳がいきいき臨床美術 楽しい造形

福祉推進事業



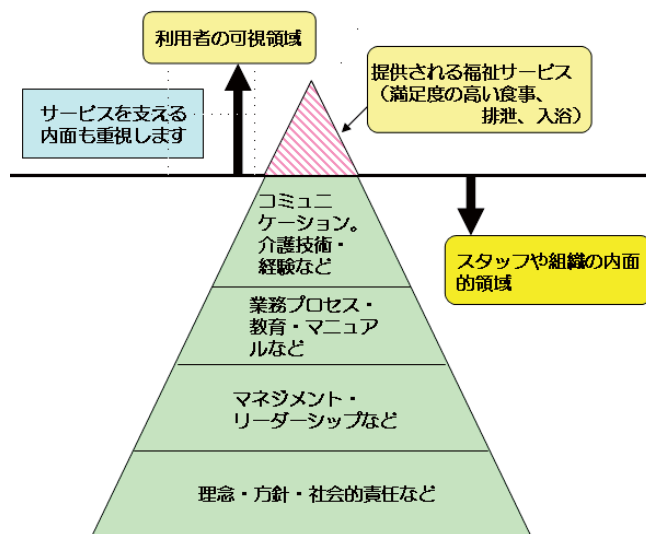
介護保険地域密着型サービス外部評価事業

なぜ外部評価なのか？ その意義について

地域密着型事業所（グループホームや小規模多機能型居宅介護）のサービスについて、見たり、聞いたりすることのできる「見えるサービス」（例えば、食事、外出、排泄介助等）は、入居者やご家族が自らその内容を評価することが出来ます。しかし「見えるサービス」を支える、事業所の理念、職員の研修・教育、人格・倫理感、リスクマネジメント等などは「見えないサービス」であるといえます。これらが、私たちの実施している外部評価の対象となるもので、「見えるサービス」のあり方を規定し、介護サービスの最終的な質の良否に大きな影響を与えます。これをマネジメントプロセスといいますが、氷山に例えれば、大部分は海中にあり、「見えるサービス」は海面に僅かに出ているにすぎません。

地域密着型事業所で必要とされている家族会や、2ヶ月に1回開催される運営推進会議は、外部からの大事な評価視点といえます。運営推進会議のメンバーは、家族、地域住民代表、民生委員、近隣の同業者、自治体（あんしんすこやかセンターを含む）、さらに事業所の方などです。議題には、入居者のこと、職員や事業所の課題、地域との連携等があり、地域密着型の特色をいろいろな視点から把握することが出来ます。しかし事業所内だけのメンバーでは客観性がありません。私は幸い数か月前から、近隣のあるグループホームにおけるこの会議に参加する機会をもっていますので、少しご紹介をします。参加者は約10人ぐらいです。重度化する利用者の状態変化や、近隣の行事予定、最新の行政情報等がテーマで、多くの内容の情報交換をするには1時間ではギリギリのようです。最近、近くのJRの改札口をスーッと通過してプラットホームに上りそうになった利用者を、誰も気づかなかった例があったとのこと。高齢化、認知度の重症化により、徘徊をする方が多くなっています。少ない事業所のスタッフでは利用者の行動を守りきれなくなってきました。まさに今、私たちが住んでいる街で「地域高齢者を皆で包括するケア」がなければ、高齢者が安心して生活を送ることが難しくなったことを実感しています。（小林）

●外部評価の視点



介護予防総合事業 神戸市での政策化研究事業

市民が望むサービスを自ら作り出し、提案！

該当する方々に、ご意見をお聞きしています。



おそれのある高齢者：神戸市での該当者は高齢者全体35万人のうち約6%に相当する2万人程度、その対応に1次予防者、つまり元気な高齢者（約26万人）が参加することで、生きがいにもつながる仕組みを創りだすことです。

現在2次予防には「生きがいデイサービス」と「配食サービス」のメニューがありますが、多くの方が何のサービスも受けていない状況にあります。このままでは要支援、要介護状況になるおそれが十分にあり、早急に魅力的で受けたいサービスを市民の手で創り出す必要があります。研究会では、魅力的なサービス、新たな生活計画書、アドバイスに当たる人材養成、担い手養成、地域資源リストの作成等を精力的に検討しています。11月30日には拡大研究会で外部の意見をいただき、来春に公開フォーラム、そして神戸市への提案といった日程を進めます。（中村）

2015年度からの介護保険制度の改正は、デイサービスやホームヘルプなど要支援1・2のサービスを現行の介護保険からはずし、市町村の独自事業とするものです。（ちなみに神戸市は、要支援1・2のサービスは市町村事業となっても現行を維持する方向です）

介護領域に限らず多くの事業が市町村に移管され、身近なところでサービスが決定できる時代となりました。市民が提案し行政と協働できるチャンスと捉え、積極的に取り組みたいと考えています！本研究会は昨年度の5回にわたる勉強会をベースに、今年度はすでに8回を重ね、具体的議論に入りました。その内容とは、主な対象を2次予防者に絞り（介護等が必要となる

要介護5	}	介護保険事業
4		
3		
2		
1		
要支援2	}	神戸市独自事業 【研究会の提案】 魅力的な新メニュー 生活計画書 アドバイス人材 担い手人材 地域資源リスト
1		
2次予防者		
1次予防者 (元気な高齢者)	}	

実践的 NPO監事プロボノ 養成講座

定年退職の前後の方・監査業務に関心のある方へ

監事プロボノで、あなたの役割と出番が広がります。

NPOにとって、法人の信頼性を確認する監事（監査役）の役割はとても重要。仕事で培ったマネジメント経験を活かした地域貢献ボランティア（プロボノ）として、監事を通じて個人とNPOとを橋渡しする養成講座です。

●基礎コース（NPOの概要、監事の役割と業務内容）

11/16（土）、26（火）、30（土）、12/7（土）

●体験コース（NPOへの模擬監査）

12/21（土）、1/11（土）、25（土）

★時間は全て13時30分～16時15分

<場 所> ビュータワー住吉館ギャラリー

★CS神戸の西隣です



<受講料>

・基礎コースのみ（4日間）

4,000円

・基礎コース+体験コース（7日間）

7,000円

こんな方に、オススメです！

- 企業や法人でマネジメント業務の経験のある方
- セカンドライフとして地域貢献に関心のある方
- 監査の業務にご興味のある方

※ 決算書について基礎的な知識をお持ちの方

CB団体視察バスツアー**セカンドライフからのチャレンジで活動している団体を巡ります！**

日常生活・身近な人…いろいろ見回してみると、一步踏み出せば、できることがたくさんあります！

“ちょっとがんばればできる”ことで、地域の人たちに喜んでもらえる“コミュニティ・ビジネス（CB）”の現場に出掛けませんか？

今回は、セカンドライフからのチャレンジで活動を始めた団体を巡ります。

<視察先>

①**阪神SITAクラブ**

オリジナルテキストのパソコン教室を開催。

②**明舞ガーデン**

レンタルボックスで、地域の人をつないでいます。

③**明舞ひまわり**

地域の「命の綱」として愛される配食サービス

④**東灘こどもカフェ**

みんなが主役！ 誰もが気軽に立寄れる居場所

・日 時： 11月21日（木）10:00～16:30

・集合場所：CS神戸事務所前

・参加費： 3,000円（昼食付）

うおざき文化祭

市民の皆さまが、日頃の成果を披露します！



東灘区民センター小ホールを利用されている市民の方々が、日頃のお稽古や練習の成果を発表し、お互いの交流を行います。これまで小ホールのご利用のない方も、どのようなことをやっているのか、一度覗いてみて下さい。思わぬ驚きや発見があるかも……？

(出演内容)

トランポピクス&銭太鼓、フォーメーションダンス、居合刀演武、カントリーダンス、大正琴、太極拳、集団新体操、導引養生功

・日 時：2013年11月17日（日）

午後1:00～4:00

・場 所：東灘区民センター小ホール（魚崎）

・参加費：見るだけなら無料です！！

・連絡先：078-453-0151

会費・寄付・寄贈をいただき、誠にありがとうございました

(期間 2013 年 6/1～9/30、順不同・敬称略)

【会費】石井真由美、大谷敏行、上念省三、根矢光二、坂本登、遠田豊成、関口宏聡、保科正彦、井上隆文、竹内志津香、藤原和男、武藤由美子、岡田進、榎本まな、斎藤征三、榎本かな、榎本英次、新庄達也、向山良子、子川幹男、加藤正博、石尾陽一、重政和洋、尼川洋子、岡部記代子、中島朋子、更谷玲治、菅祥明、山口一史、新福たか子、與口修、宮下隆二、津田久雄、大草美代子、稲田薫、直田春夫、務川悦孝、畑中進、進藤啓子、角田敏子、西信弥、中村保佑、福田菊、植戸貴子、水船春美、瀬戸口延恵、西山八重子、前東ふみ子、長谷川京子、大野利恵、上村隆夫、伊谷須美子、黄田昭子、西村尚士、日下恵子、上野恭男、中村大知、本多元彦、藤本傑士、森功、医療法人明倫会、NPO法人婚活せわやき隊、櫻井税理士事務所

【寄付】中村順子、小林清隆、飛田敦子、足立勝、岡田進、福田菊、榎本まな、国枝哲男、広井かほる、更谷玲治、家城裕之、山口一史、瀬戸口延恵、中山照彦、三津国奈々、村上義弘、上村隆夫

【寄贈】岡田雅幸

2013 年度の会員継続をお願いいたします！

市民活動を共に支えて下さる賛助会員（個人・団体）の方々を募集しております。

【会 費】個人会員3,000円／年、団体会員10,000円／年
【振込先】名義 NPO法人コミュニティ・サポートセンター神戸
郵便振替 00950-2-144205

編 集 後 記

福祉関係について、いろいろな動きが出ています。持続可能な高齢者介護のためNPOとして、そして市民として何ができるか、いろいろな角度から考える必要を感じています。(O)